

第6回 DAAS運営委員会 議事要旨

(1)日時: 2008年7月25日(金) 午後2時～4時

(2)場所:(社)日本建築士会連合会 会議室

(3)出席者(順不同 敬称略)

運営委員長:三塩(株式会社日本設計)

副運営委員長:南(慶應義塾大学)

運営委員:永島(代理 平野謙)(株式会社熊谷組)、早川(株式会社日建設計)、有馬(代理 平郡美果)(積水ハウス株式会社)、笠、中村(社団法人日本建築学会)、伊平(株式会社久米設計)、森(代理 本多陽)(株式会社山下設計)、佐野(社団法人住宅生産団体連合会)、兼松(社団法人日本建築家協会)、戸谷(社団法人日本建築士事務所協会連合会)、鈴木(社団法人日本建築士会連合会)

事務局:高見(国土交通省国土技術政策総合研究所)、井出(住宅・建築・都市政策支援集団)、武藤

(4)配布資料:

- 資料1-1 特集企画 VIDEO掲載報告・撮影予定
 - 資料1-2 コンテンツスケジュール案
 - 資料1-3 建築写真家協会送付資料
 - 資料1-4 建築・まちなみ及びその記録の保全に関する調査・広報事業企画(案)
 - 資料1-5 建築まちなみデジタル博物図館 見取り図
 - 資料1-6 事業費執行額内訳
 - 資料2 総会開催案内文章(案)
 - 資料3-1 DAAS理事・役員名簿
 - 資料3-2 運営委員会選出会員名簿
 - 資料4-1 事務局移転資料
 - 資料4-2 事務局名簿
- 第5回運営委員会 議事要旨

(5)議事

■審議事項

[議案1 2007年度 活動計画・活動報告の件]

1)資料1に沿って、事務局より説明。

2)補助金事業・表彰作品のデジタル化収蔵については資料1-4に基づき事務局(高見)より補助金事業企画案の説明と中間報告を行った。

【要点】

- ・住宅の長期利用を目的とする200年住宅政策に係る補助金事業(国土交通省)があり、当該事業を適用した記録保全のための補助金申請を進めている。
- ・実施団体は(社)日本建築士会連合会、(社)日本建築士事務所協会連合会、(社)日本建築家協会、NPO 住宅・建築・都市政策支援集団 及び DAAS とし、その他国総研、建研の協力により事業を実施予定である。
- ・具体的な事業計画は、これまで社会で一定の評価をうけた建物や街並み、住宅等の総覧を行い、価値を認められたものの検証と、保全状態の検証を行い、保全候補のリストを作成することを予定している。
- ・これらを検討する委員会の設置と、総覧された資料に基づき各種表彰事業において評価をうけた建築物や街並みから記録シート作成作業を検討している。この記録作業がDAASに係る作業となる。
- ・士会連合会、日事連、JIAについては、過去の主要な表彰事業について受賞者のリスト作成を依頼し、その受賞者への連絡、受賞作品の記録づくりをする作業を想定している。併せて学会賞、都市計画学会賞の受賞者リスト作成や記録作成を行うことも検討している。
- ・現在のDAAS収蔵データは、60～70年代における新建築社の褪色補正データに限られているため、日本の建築全体を国民や全世界にWEBを通じて紹介してゆくという意味においては、理想とする総覧性という当初の目的からは大きく離れている。
- ・DAASが、住団連、住宅系企業、不動産業界からのスポンサーシップを受けている中で、現在の収蔵データが単体建築中心であることに対し、情報としては各分野の情報を総覧できるようになることを考えている。

- ・この事業の成果物は、実施各団体に還元をするとともに、DAASコンテンツとして活用させていただくということで話を進めている。

【意見等(資料1-4関係)】

- (三塩) 補助金事業を活用し、その具体的な活動の成果物を利用してDAASの収蔵コンテンツを広げようとするものである。写真家とのコンタクトと了解を得て、DAAS-Web上で写真家のコンテンツを紹介してゆくということも重要な活動であるが、一方で、新建築社の資料のみという現状から少し脱却をし、総覧性を高めてゆきたいという糸口になり得るのではないかと考えている。事務局より、3団体に対し事業説明とリスト作成に係る協力依頼をしている段階である。
- (高見) まだ事務所協会への説明は十分できていない。
- (三塩) 補助金事業の予算執行は、DAASの年度として2008年度となるのか。
- (高見) DAASの年度は9月末で切り替わるが、補助金は2008年度事業、つまり来年3月までの事業となる。
- (早川) 資料内の表彰件数は、過去すべての件数なのか。
- (高見) DAASで調査した過去すべての件数である。リストアップするものについて、そのすべての記録作成が可能か否かは、今後各団体と相談をしてゆく予定である。また、本部のみでなく地方や支部もいずれは対象にしたい。しかし、予算や事業期間等の限られた条件では、それらの対応を事後にしたいと思っている。
- (三塩) 時期により、表彰事業が実施されていない場合もあり、比較的全体像が見えているところに限っている。
- (兼松) JIAは既にリストアップをすすめており、160件になった。
- (三塩) リストは160件であるが、さらに詳細がわかるものとする、件数は少なくなるだろう。年度内事業という時限事業であるため、作業数については限られてくる。
- (高見) 200年住宅という建物を長く使うこと、という意味を問うというような目的の事業であるため、(対象とする過去の表彰作品等が) 現在どうなっているかという検証も必要と考えられる。
- (早川) 補助金事業の実施年度とDAAS年度がずれるが、その切り分けはどうなっているか。
- (高見) DAASとしては、10月からの来期の収支予算上「記録整備費」として(補助金事業実施主体から) 受託費収入として計上するか、または、実質的にはDAAS成果物とする意味で共同実施とするか、その整理については今後検討してゆきたい。
- (三塩) DAASの今年度には、その作業にかかる金額を計上していないが、この補助事業が始まったために来期収支予算に補助金関係収入を盛り込み、次回の年次総会で諮ることになる予定。DAASとしては10月から3月までに活動することとなる。

3) Webの改修について。

事務局より、実際のDAAS-WEBSITEを用いて改修事項に係る説明を行った。

【改修点】

- ・トップページの改修
- ・収蔵データのライドショー
- ・検索機能の強化。キーワード検索、サジェスチョン機能の追加
- ・国際的な情報の発信を目的とした英訳サイトの整備(日本語サイトとの機能差異による、文字変換の不具合(文字化け等)についての対応を含め、8月実装予定)
- ・会員団体・企業の英訳サイトへのリンク
- ・会員企業ロゴの表示

- ・年表的な収蔵データ表記の検討（2008年度）
- ・コミュニティの機能拡張
- ・コラム掲載の開始（建築語（カタ）ログ、けんちくアーカイブ部）
- ・ビデオアーカイブ及び特集ページなどへ、トップページからリンクを追加
- ・個人写真家の作品ページの検討
- ・表彰物件アーカイブの検討（2008年度）

【意見等(DAAS-WEBサイト改修事項関係)】

(高見) (英訳サイトの補足説明) 英語画面はメタデータという文字情報、諸元のデータをすべて英訳することができなかつたため、建築家名、設計者名、施工者、作品名のための英訳がなされる予定である。これにより海外の方でも英語で検索可能となる。

(三塩) 今期、来期を通じ、Webとしての領域をサイト画面の中でも広げてゆくための具体的な成果である。コンテンツが充実してきたところで、DAASとしても広報活動の必要があると考えている。デジタル卒業設計の実施による大学へのDAAS認知度を高めるための広報も存在するが、Webページ改修が進むことで、別の媒体でDAASを紹介する活動に入ってゆくことも検討したい。なお、補助金事業の広報事業として、各団体の全国大会における展示ブース設置や、DAASのデモンストレーションを通じたDAASの活動を発表することも検討している。

以上が議案1の説明の趣旨である。

(竺) サムネイル以外の大きな画面サイズのデータは存在するのか。

(南) 会員登録によりQVGA（320ピクセル×240ピクセル）画像をWEB上で閲覧できる。WEB上での表示解像度・大きさは、原権利者がどこまでWeb表示を許可して頂けるかに依存している。

現在DAASが収蔵している新建築社コンテンツに限っては、原権利者である新建築社と調整結果、基本的にQVGAまでの許可を得ている。

ただ、DAASとして収蔵しているのは、QVGA画像のほかXGA（1024ピクセル×768ピクセル）、さらに元々の褪色ポジ補正データに関して約5000×5000ピクセルの高解像度TIFFデータも格納している。

(竺) それは申し込みにより許可を取り、第三者が利用できるようにしているのか。

(南) TIFFデータについてはすでに何件かの利用申し込みを受けた。DAASから提供したデータをもとに印刷物に用い、商用利用された実績もある。ただし、DAASは利用申込者と原権利者間で調整が済んだものについてのみ提供するルールとしている。

(竺) その権利調整にはDAASも関与しているのか。

(南) DAASは原権利者との仲介をしているまでで、具体的な権利調整は、利用予定者と権利者間での直接的調整をお願いしている。

(高見) 現在のDAAS収蔵コンテンツは、そのすべての権利者が新建築社のみであるが、利用者に原権利者を紹介し、新建築社との権利調整をまず済ませるよう依頼している。権利調整が済んだ後にDAASよりデータ提供するという手順である。

(竺) 他の写真家についても同様に考えているのか。

(高見) その部分は徹底してゆくつもりである。

(高見) 新規ウェブはいつ頃UPされる予定か。

(南) 本日UPする予定である。

[議案2 総会開催の日時について]

資料2に従い、年次総会の案内文章の送付の連絡、日程・議案予定の確認を行った。

なお、年次総会の日時、場所は以下のとおり。

日時: 2008年10月31日(金)午後2時～ 場所: (財)ベターリビング1階会議室

[議案3 理事・役員選任について]

資料3の役員名簿について確認を行った。

【意見等(資料3関係)】

(三塩) 各代表者の変更など重要事項については事務局にて確認を行うが、役職名等の変更があれば事務局までお知らせいただきたい。

(兼松) JIAの会長は出江寛氏である。

(三塩) 日建設計については、理事は変わるか。

(早川) 肩書きが会長となっており、理事は継続している。

(高見) 士会連合会も藤本昌也会長が変更になっている。昨年9月時点の登録情報であるため、まずは事務局で確認をする。

企業会員については2口会員を中心に理事をお願いしていたところであるが、今期に入り会費の減額希望があり、来年度の理事をどのようにさせていただくか、各社と相談させて頂く予定である。基本的には再度2口のお願いをさせていただく前提で理事のお願いをし、了承を得られなかった場合にどのように判断するかということは総会直前の運営委員会までに検討させて頂きたい。

[議案4 事務局移転に関する件]

資料4-1について、事務局より説明を行ったところ原案どおり承認された。

【要 点】

- ・事務局委託先を、現在の「新建築社」から「NPO 住宅・建築・都市政策支援集団」へ変更したい旨の説明を行った。
- ・新建築社には引き続き会員としての協力をお願いしてゆく意向を説明。
- ・当初より自立自営の事務局を目指していたが、関連する公益法人の支援も必要ではないかとの意見が一部委員からあった。NPO法人の事務支援をしている国交省所管の財団法人ベターリビングより、予算的に明示的なことはないが、非予算の支援を受けられるということもあり、NPOの所在地への移転について提案したい。
- ・ベターリビングからは、DAASの活動に関与する、また名前を出すということは考えていないと聞いている。会員の方々、また利用者にとって、一般企業の新建築社から国交省所管法人へ事務局が移行するという距離感はあると思うが、実質的にベターリビングという財団名がでることではない。
- ・DAASの会計処理、総会手続き書類作成等については、ベターリビングの協力が受けられると聞いている。
- ・現在の委託先である新建築社へは説明に伺っている。新建築社の中田氏の退職と宮城への移転、事務局強化のための井出氏の参加について会員団体からの推薦をうけたことなどを含めた事務局移転の件について、新建築社の運営委員である橋本氏へ説明をし理解を得ている。
- ・新建築社以外のコンテンツ拡充も含め、新建築社のブランド名から、ニュートラルな活動を目指したのものである。
- ・最終的には総会審議事項となるが、事務局移転について理解を頂きたい。

[議案5 次回運営委員会開催予定について]

今後の運営委員会を定期開催(3か月に一回)とすることに加え、年次総会開催直前の最終的な準備のため、次回運営委員会については、以下日時とすることに決定した。

■次回運営委員会日程:

日 時:9月26日(金)14:00~

[その他]

【動画コンテンツに関する事項】

- (伊平) ビデオの人選はどうなっているのか。理事として難波氏、古谷氏を調整しているが。難しいかもしれないが、安藤忠雄氏を企画に入れると、DAASの広報として力になると思う。
- (高見) 運営委員会で提案頂いたということで次期に考えたい。林昌二先生が体調不良により収録の予定がたたないということで順番をかえることもありうる。委員会の中でも協力をお願いできればと考えている。
- (兼松) 街づくり、街なみという意味では、芸大の前野まさる先生も今のうちにビデオ収録してはどうか。
- (高見) 今のところDAASは単体建築で進んで来ている。次期までにウェブ構成を変えるのは難しいかもしれないが、補助金事業の成果により街並み系の掲載物ができればウェブの構成にも加えてゆきたい。また補助金事業の本体では、山口先生、植田氏のインタビューも予定している。ご提案頂いた前野先生も含め、今後どのようにするか相談してゆきたい。
- (三塩) 補助金事業の成果がUPされる時期がよいのではないか。

【事務局に関する事項】

- (高見) 次回より、事務局移転の際に説明させて頂いた井出氏に参加頂く予定。
- (井出) 全体のDAASがどのような組織として構成され、どのような経緯をたどってきたかまだ理解しきれていない状態ではあるが、今何をやるべきかを考え、少しずつ実践的に加わってできることをやろうと考えている。
- (高見) 事務局の協力について。各社からのご推薦があれば、今後もお願いしたいと考えているため、検討をお願いしたい。